

レッツ

甲斐崇先生と学ぼう！

★NIEは、Newspaper in Education (教育に新聞を)の略です

チャレンジNIE

小学生

第180回

今週のお題

記事を見て
考えよう！

レベル★★★ (高学年)

ゴールデンウィークも終わってよいよ夏本番。みんなはどんな休みを過ごしたかな？今回は意外な「日本一」の記事からの問題だよ。記事をよく読んで答えてみよう。



【1】沖縄県では何が日本一なのですか？
また何年連続ですか？
()が()年連続

【2】どれくらいの蜂が飼育されているのですか？
1群=2万匹として計算してみましょう。
()匹

【3】グラフから蜂群、飼育者の数はどのように変化していますか？また今度はどのような変化すると予想できますか？
()

【4】なぜ沖縄ではミツバチの飼育が盛んなのですか？
記事の言葉を使って説明しましょう。
()

【5】ミツバチ以外にも沖縄ならではの気候を生かした産業にはどのようなものがあるでしょうか。
インターネットなどを調べて書いてみましょう。
()

県ミツバチ飼育数日本一 2年連続 花粉交配用、県外出荷

農林水産省の2020年の調査で、ミツバチの飼育数で沖縄県が2年連続で日本一になりました。県内では冬でも温暖な気候を生かしてビニールハウス内での花粉交配に用いるミツバチの飼育が本島北部などで盛んになっています。一方で、県産蜂蜜の人気も根強く、少量ながら付加価値の高い生産体制となっています。

20年1月時点の飼育蜂群数(1群数はハチ2万匹相当)が、沖縄は前年比8%(1300群)増の1万6千群となり、2位の長野県の1万2400群を上回りました。沖縄は19年の調査で長野の飼育数を初めて上回りました。

県内の飼育者数も前年比18%(36人)増の232人となり、拡大が続いています。県外では、気温が下がる11～3月に花粉交配用のハチの入手が難しくなるといいますが、温暖な沖縄では年間を通してハチの飼育が可能です。

県内のミツバチ飼育者数・蜂群数の推移



【2021年4月6日付琉球新報経済面より】

【1】は、2つの見出しに注目すると解けるね。【2】は、20年1月時点の群数を調べてみてね。それが分かればかけ算してみよう。【3】は、グラフの変化に注目！これまでの変化をもとにこれからも予想してみよう。【4】は最後の段落から読み解いてみよう。沖縄は県外と比べてどうなのかな？【5】は、タブレットなどを活用して調べてみて。意外に知らないことがあるかも？！



かい・たかし

NIE アドバイザー。西原町教育委員会指導主事

✂️ 切り取ってノートに貼れるよ。挑戦してね！